

第128回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現 | 金 | 当 | 座 | 預 | 金 | 別 | 段 | 預 | 金 | 受 | 取 | 手 | 形 | | | | | |
| 売 | 掛 | 金 | 前 | 払 | 金 | 仮 | 払 | 金 | | 不 | 渡 | 手 | 形 | | | | | |
| 建 | | 物 | 建 | 設 | 仮 | 勘 | 定 | 支 | 払 | 手 | 形 | 買 | 掛 | 金 | | | | |
| 前 | 受 | 金 | 未 | 払 | 金 | 貸 | 倒 | 引 | 当 | 金 | | 株 | 式 | 申 | 込 | 証 | 拠 | 金 |
| 資 | 本 | 金 | 資 | 本 | 準 | 備 | 金 | 仕 | | | 入 | 支 | 払 | 手 | 数 | 料 | | |
| 貸 | 倒 | 損 | 失 | 売 | | 上 | | 受 | 取 | 手 | 数 | 料 | | | | | | |

1. 藤堂製菓株式会社は、建設中であった営業用店舗が完成したため、店舗の引渡しを受け、工事代金の残額 ¥ 1,000,000 のうち ¥ 600,000 と登記料 ¥ 50,000 については現金で支払い、残りの ¥ 400,000 については翌月末に支払うこととした。なお、この店舗の工事に対しては、工事代金の一部としてすでに ¥ 2,000,000 を前払いしている。
2. 鍋島商事株式会社は、新株 200 株（1 株の払込金額：¥ 50,000）を発行し、払込期日までに申込証拠金の全額が払い込まれ、別段預金に預け入れていたが、本日が払込期日となるため、別段預金を当座預金に預け替えた。なお、資本金には会社法規定の原則額を組み入れることとする。
3. 得意先石田商店が倒産し、同店に対する売掛金 ¥ 200,000 が回収不能となったため、貸倒れとして処理する。回収不能となった同店に対する売掛金のうち、¥ 120,000 については前期の販売から生じたもので、残額は当期の販売から生じたものである。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 150,000 である。
4. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
5. 黒田商店から売掛金の決済のために受け取り、すでに細川銀行で割引きに付していた、同店振出し、当店宛の約束手形 ¥ 100,000 が満期日に支払拒絶されたため、同銀行より償還請求を受け、小切手を振り出して決済した。また、満期日後の延滞利息 ¥ 5,000 は現金で支払い、手形代金とともに黒田商店に対して支払請求した。